

多角的に情報を検討しようとする態度の育成

HYOGO スクールエバンジェリスト 兵庫県立北須磨高等学校 能島 秀邦

本時の目標	校種・学年	高校・1年
・Web ブラウザを使用し、様々なパーカッション・コードを習得し、DTMソフト「DOMINO」を使用したパーカッション、コードの作曲をすることができる。	教科・領域	芸術(音楽)・創作
	アプリ・ソフト	・YouTube ・DOMINO ・Web ブラウザ
	備考	・各自のイヤホン

○本時の展開

	○学習活動(◆指導上の留意点)
導入	○本時の目標及び単元目標を確認する。 最終的な創作作品をイメージし、パーカッションパート、コードの進行について学び、作曲をしよう。 ◆インターネット上に様々なパターンが示されていることを確認し、各自のイメージにあうコード進行を考えさせる。
展開	○様々な作品に使用されているパーカッションパターン・コード進行パターンについて分析を行う。 ○各自のイメージに合う創作を完成させるためのパーカッションパターン・コード進行パターンを見つけさせる。 ◆各パートの分析を行わせることにより、知識を深めることができる。
まとめ	○DTMソフト「DOMINO」を使用し、各自の創作を行う。 ◆各自の最終イメージを常に認識させ、各パートの創作を行う。

育成できる情報活用能力

◎インターネット上にある様々な情報を多角的に収集しようとすることができるようにする。

育成できる情報活用能力

◎インターネットを用いた効果的な情報の検索と、活用能力の向上が見られるようになる。

育成できる情報活用能力

◎最初は既存のパターンの組み合わせからだが、音楽に新たな価値を見出すことができる。

生徒の感想

・最初は、創作は難しいものだと思っていたが、誰でも簡単に作ることができるとわかって、今後続けてみようと思った。
・理論も難しいと思っていたが、理屈がわかると楽しくて、実際の楽器でやってみたいと思うようになった。

<情報活用能力の育成とその効果>

・インターネット上には様々な情報が記載されているが、各自の価値観の中で、その情報を取り入れ、新たな価値のある文化として残すことができる。
・音楽理論も ICT と実際の音楽を併用することにより学習効果が上がった。